
ちょっとしたこと

石子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ちょっとしたこと

【Zコード】

Z9187J

【作者名】

石子

【あらすじ】

短編三話。【窓際の幽霊】幽霊が出ると噂されているのは、窓際のデスクだった。【電話ごしの声】友人からの久々の電話。話題はこの前死んでしまった会社の同僚のこと。【停止エレベーター】急に止まってしまったエレベーターの中での、男一人の会話。

あなた達つて、まだこの会社に派遣されて数日しか経つてないのよね？

やだ。いいのよ。私だって何週間か前に来たばかりの派遣社員だし。そんな先輩扱いしてくれなくたって。

三ヶ月更新だから、すぐに別のところに移るかも知れないしね。こんな大企業だからさ、こここの職場、ほとんど派遣ばかりで肩身が狭い感じはなくて……まあ、働きやすいかな。

あなた達二人も今まで面識なかつたんだ？

今日たまたま席が近かつただけ？

そうよね～。私も会うのはじめてだもんね。っていうか、すれ違つたことくらいはあるかも？

ここ、人数多いし、入れ替わり激しいからね～。このフロアだけでも常時八十人くらいいるんじゃない？ 他の階にも派遣さんいるし、それいたら何百人つて人数になるんでしょうね。

もつと小さい会社ならぬ、派遣社員でも一応「今日からお世話になります」みたいなあいさつして軽く自己紹介とかさせられるけど、ここつてそういうのもないでしょ？

知らないうちに知らない人が働いてて、知らないうちにいなくなつてくる、みたいな？

人間関係は楽よね。

最初に仕事教えてもらえば後は大体一人でできるし。マニュアル通りにしたらしいだけもんね。

席だつて、パーテーションで区切られてるから隣の人としゃべることも少ないし。

でも何ヶ月かいると気の合う人とは結構仲良くなつたりするみたい。

今みたいに昼休みに休憩室で一緒になつたりしてさ。やっぱりグ

ループとかできるのよね。

派遣社員でも長く働いてる人は、派閥っていうの？ そういうのもあるみたいだからその辺はあんまり深入りしない方がいいかもねん？ あー。その噂、もう聞いたんだ？

ここ、幽霊が出るつて。

私達って、定時になれば帰るじゃない？ 残業とかしようと思つても、時給制なのわかつてるから社員の人あんまりいい顔しないからね。大したノルマもないし、少しくらい仕事が残つても明日にしたらしいかつて感じでしょ。

で、そうなると、一気に人がいなくなるからこんだけ広いフロアがガランとしちゃうのよ。

あなた達はまだ遅くまで残つてたことない？ まあ、私もね、基本的に速攻で帰るからその後の状況とかあんまり知らないんだけど。

社員さんも、ちょうどその時間になると上の階の帳票の処理を行つちゃうからこここのフロアにはほとんど誰も残つてないわけ。だから、節電のために照明も一部を残して落としちゃうのよ。夕方でも薄暗くなるのよね、ここ。

そんな夕暮れ時に何故か一人でパソコンに向かつて作業をしている人がいて、でも面識もないし、そんなに珍しい光景でもないじやない？だから声を掛けることもなく帰るんだけど、よくよく考えたらそんな娘見たこともないわけよ。しかも顔を思い出そうとするんだけど長い髪に顔が隠れてたからよく思い出せない。

次の日に出勤してそのデスクを見ても、日によつてそれぞれが使うデスクつて変わっちゃうから誰だかわからない。なんとなく気になつて出勤記録を調べてみても……。うん。あの入り口付近の棚の中に置きつ放しになつてるやつのことね。誰でも簡単に見れるから。そう、出勤記録を見ても、その日残業してた人なんていないわけ。

実は、何年か前に仕事を苦に自殺をした女性がいて……、みたいな話でしょ？ あなた達が聞いたのつて。

あ、やつぱり。私も最初の頃にそれ聞かされたんだけどね、正直こんだけ人がいるわけだし、見たことない人が残業してるなんてこと普通にあるのよね。

ま、会話のきつかけみたいな感じで色々な人がよくこの幽霊話をしてるみたいよ。小学生じゃあるまいしつて思うけど、そんな話しながら「え？」「こわーい」と言い合ってるのもなんか楽しかつたりしない？

や～ねえ。あなた達二人とも本気にしてたの、この話？

確かに。その幽霊が座つてるのは窓際の端のデスクらしいわね。あー。あなた今日はちょうどそのデスクに座つてるんだ？自分で選べないもんね。朝、出勤した時に張り出してある座席表の通りに座るだけだし。あれ、誰が決めてるのかしらね？

そつか～。だから余計に気味悪がってたんだ。

大丈夫よお。私、幽霊なんて見たことないし。

あつ。そろそろ昼休みが終わる時間だわ。

じゃ、私そろそろ仕事に戻るわね。

あれ？

どうかした？

昨日の昼休みに休憩室で会つたわよね？

もう仕事時間終わつたけど、誰かと待ち合わせ？……ええ。私は今から帰るところよ。

え？ 昨日あなたと一緒にいたもう一人の子？

今日は見てないわね。

へえ。仕事帰りに一緒にお茶に行く約束してたんだ？

あなたも今日はその子のこと見てないんなら、休みなんじやないの？ 携帯に連絡は？……つかないんだ。

風邪でもひいて家で寝てるとか。

ああ。昨日私が言つてた出勤記録も見たのね。

今日の欠勤者は一人もないの？ おかしいわね。あの出勤記録、あんな適当に置いてあるけど記入漏れはないはずよ。ええ。もちろんあれとは別にそれぞれのタイムカードも押してるけど、あれ管理してる社員さん、なんか出勤記録書くのに情熱燃やしちゃってるからね～。他の仕事の出来はともかく。欠勤や遅刻、早退者の記入が漏れてることはまずないんだけど。

そういうえば。昨日、窓際のデスクに座つて言つてたわよね、あの子。幽靈のたたりとかあつたりして～。

……なんてね。冗談よお。

あ、今日はあなたがそのデスクに座つてたの？ 偶然ね～。
何言つてるのよ。あなただつて、幽靈なんて見てないでしょ？
だいたい、こんな普通のオフィスで怪談話つてねえ。たいして怖くないわよねえ。

まあ、でも……。

私の幽靈の話を聞いた時から思つてたことがあるんだけど。
ちょっとしたことよ。

幽靈が出る、んじゃなくてその窓際のデスクに座つた人が消えちゃう……とかなら怖いかなつて。その人がほんとにこの会社で仕事をしたのかどうかも次の日になっちゃえばわからない。だって、もし出勤記録に残つてなければわざわざ調べたりしないもの。そりや、無断欠勤すれば会社から電話くらいはかかるだろうけど、繫がらなければ無理に捜したりしないわよ。代わりの人間なんてそれこそ山ほどいるし。一人いなくなつたところで会社の業務にはなんの差し障りもないわけ。

あなただつて、何日か連絡取れなかつたら彼女のこと忘れていくわよ、きっと。携帯番号くらいしか知らないんでしょ？ 昨日知り合つたばかりだつたみたいだし。

ほんとはね、あの窓際のデスク、いつもは使われてないのよ。人數の関係で他に空き席がない時だけあそこが使われるの。多分、幽

靈の噂があつて気持ち悪がられるからなるべく避けてるんだろうな、
って思つてたんだけどね。もしかしたら、あそこに座つた人が消え
てしまう、なんてことがあるのかも……。

人が一人消えてもこの職場じゃたいして氣にもされないしね。
何が怖いって、幽靈が出るか出ないかなんてことより、自分がも
し急に消えてしまつても誰も気付かないんじやないか……なんてい
うこの状況が一番怖いわよね。とか言つちゃつたりして。あはは。
つて、あれ？ 誰もいない。

さつきまでいたのに。

まあ、いいわ。

無駄話してたら遅くなつたちゃつた。
私も早く帰ろつと。

もしもし?

うん。今、大丈夫。仕事終わったとこ。

まだ会社にいるけど?

まじで? 今日、コンパあるの? 行く行く。

何時から? ああ、駅に集合でその時間なら余裕で行けるし。この前買ったワンピ着てくれればよかつた。もうちょっとと早く誘つてくれれば家に帰つて着替える時間あつたのに。

ふうん。急に決まつたんだ? 別にいいけど。人数合わせに呼ばれただけでも、氣い悪くしたりしないからね。そんなにフトコロ小さくないし、私。

それにしても会つの久しぶりじゃない?

ところでそつちばどうよ?

仕事辞めて、清々してんじゃないの? あ。次の仕事探し中? でも、あんたはいいわよね~、実家暮らしだ。私だって一人暮らしじゃなきやとつくなこんな仕事辞めてるつての。

そう。未だにあの使えない上司、会社に屈座つちやつてるからね。あのハゲ、仕事できないくせに偉そつなのよね~。あんた、この会社辞めて正解だわ。

もお最近、あの上司の顔見るだけでイライラとするんですけど。

私もそろそろ辞め時かもしんない。

仕事つまんないし、いい男もいないしい。

……ん?

あー。あんたも聞いたんだ~。

加代子、死んじゃつたこと。

二週間くらい前? かな?

行つたわよ、葬式。

やっぱ、部署が一緒だつたじゃん?

部長と一緒に、うちの部署で仲が良かつた女子社員も何人か行った方がいいだろ?、とか誰かが言い出しちゃって。でもあの子、友達いなかつたでしょ。誰も自分が行くとか言わないからテキトーに部長が指名してんの。

結構みじめじゃない?

ま、そんなこんなで私と後二人くらい女子社員が行つてきたわけ。なんか、全然仲良くなかったんですけど。仕事上でもほとんど付き合いなかつたんですけど、的な空氣。

はあ?

イジメ?

何それ、意味わかんない。

やつだ。あんたばつかじやないの?

あれ、イジメじゃないし。ちょっとからかっただけじゃん。あんたがここ辞める前よね。それ、一ヶ月以上も前だしさあ。

暇だつたし。加代子に回すの分の書類だけ仕上げを遅くしたり、彼女のふでばこをごみ箱に捨てたりしてたあれでしょ?

超くだらなくない?

あんなの気にする方がおかしいって。イジメンなら、今時、中学生だつてもつとマシなイジメ方すんじやない?

だからあ、加代子も暇そうだったから、まあ、遊んであげた、⋮

⋮みたいな?

ちょっとしたことでしょ。

だいたい、最近は仕事忙しくてそんなことしてる場合じゃなかつたし。

あんたも辞めちゃつたしね。

そもそも、加代子つて事故死だつたんでしょ? なんか詳しくは知らないけどや。

イジメを苦にして自殺したのかも、なんて心配するような状況じやないじゃん。

あんたつて、意外につまんないこと気にするんだ。

ええ？ なに？ 総務の……誰？ そんな人知らないんだけど。

加代子と仲が良かつた人がいたの？ 総務部に？ へえ。……で、

その人とあんたが面識あつたんだ？ 初耳。

その人もコンパに誘つてみたけど都合が悪くて来れなかつた……つて、それどうでもいいんですけど。

あ。 そうじゃなくて？ その人から加代子が死んだこと聞いたのね。 ああ、そう。

なによ。 加代子がイジメられてることその人に打ち明けてたとか

そういう話？ ……ではない。

加代子が？ 死ぬ前にその人に言つてたことが？ 「みんなが誘いに来る」？

何の話？ わけわかななすぎでキモいんだけど。

いいんじやないの。 加代子、友達いなかつたし。 みんなが誘いに来る……つて、友達でもできて自慢したかつたとか？ さむつ！ くだらない怪談よりよっぽどさむいし！

怯えてたみたい、つて言われても私知らないしさあ。 それなら、なおさらイジメとか関係なくない？

もういいじやん。 加代子のことは。

私だつて、少しばかわいそうだなつて思つてんだから。 全く親しくはなかつたけど死んじやつたとなるとね。 同年代だしこまだ若いのにな～、とかはちらつと考えたりするつて。

……でも。 それより、今日のコンパよ。

長話してたら準備する時間減っちゃうじやん。

今から、会社のロッカーに入れてるベアアイロンで髪型整えるから。

はあ？

にぎやか？

ああ。 そつちね。 あんたの後ろから人の声するする。 人ごみの中歩いてんの？

あ、 やつぱり。 時間つぶしに、駅のショッピング街歩いてるんだ

? 「うん、確かににぎやかな感じ~。
……え?

いや。そりゃ、会社は人が多いし、にぎやかかもしないけどさ。
私、今トイレの鏡の前で化粧直ししてるんだけど。
トイレには私以外は誰もいないし。

やめてよ。誰もいなってば。

加代子の声に似てる? でも、他にもたくさん人がいるみたい?
あなたさ、私を怖がらせたいだけでしょ? 「ばかみたい。そんな
ことあるわけないじゃん。どこをどう見たって、今トイレの中には
私しかいないし。そんなくだらない話に騙されるほど、私頭悪くな
いんですけど~。

もう。いい加減にしてよ。

「こっちの方が楽しいよ」? 「早く来て」? 声が近づいてく
る?

逃げた方がいい……って言われても。
私には何にも聞こえないってば!

なによ! ? どこに逃げるのよ! ? 何から逃げろってこいつのよ
! ?

ふざけるのも大概にしないと、私だつて怒るよ! ?

声! ? 真後ろ! ? 「捕まえた」! ?

わかんないつてば! 何にもいなつ

停止Hレベーター

管理会社の人、すぐに来てくれそうですね。

それにしたって、急にHレベーターが止まつたりやつたら驚きますよねえ。

あなただつて、『非常』のボタン押したのなんてはじめてじょう。

そりゃそうですよね。

まあ、Hレベーターはこれ以外にも一機ありますからね。……とは言え人や荷物の出入りも多いですし、早くこのHレベーターも動かさないと。

……いえいえ。じつは、一人きりでいるよつは他に話し相手がいた方が良いですよ。

え？　あー。そうですよね。一緒に閉じ込められたのが若い女性とかだつたら緊張しちゃいますよね。僕で良かつた、ですか。あはは。光栄です。

ところで、持つておられるその花束は……？

やつぱり。ちよつと今日が最終出勤日だつたんですね。部下の方たちからのプレゼントってわけですか。

退職の日にこんな事態になるなんて、ねえ。

ははあ。いい思い出、ですか。そうですね。

今日、ここでお話できなかつたらあなたと会話する」ともなかつたでしょ？　何事もご縁ですね。

実は僕、あなたのことよく見かけますよ。やつぱり、Hレベーターの中で。

そつなんですか？　あなたも僕のこと見かけたことがありますか。

毎日出勤してるとそれなりに顔だけは見たことある人つて増えていきますよねえ。

同じ会社の中とは言え部署「J」とにフロアが違うから、部署が違う

とほとんど接する機会ないです。でも出勤時間とかが一緒だとお馴染みのメンバーが一緒にエレベーターに乗つてたりするんですね。

しゃべったことなくともいつも見かける人だと、変な話、ちょっと愛着わいたりしませんか？

あ。わかります？ 嬉しいなあ。

仕事したくない日とかもね、あるじゃないですか？ そんな時にいつも人がいつもの時間に出勤してるのを見かけると、ああ、この人も頑張ってるんだろうな、とか勝手に想像してみたりしてね。逆に自分が機嫌が良い日に、相手がなんだか落ち込んでる感じだったら心配になつたりして。

まあ、結局は全部想像なんでその人が実際にどう思つてるかなんて確かめようがないんですけど。

ほんとですか？ あなたもそんな風に思つたことがありますか。いや。僕だけじゃないつてわかつただけで嬉しいですよ。

それにしても、おじさん一人でこんな話をしてるなんて、傍からみたらおかしいですよね。

あはは、確かに。やつぱり相手が女性だつたら、こんな話してたらストーカーみたいに思われちゃいますよね。セクハラだ、なんて言われたらたまんないですよねえ。

えっと。まだ時間がかかるのかもしれませんね。エレベーターが動くまで。

心配になつてきましたか？ 大丈夫ですよ。エレベーターが落下することなんてまずないですから。

ああ。ありましたねえ。社員が一人亡くなつたエレベーター事故。もう三十年くらい前の話でしょう？ そんなの覚えてるの、古株の社員だけですよ。

あれから付け替え工事も何回かありましたしね。もう少ししたら動きますよ。

あ。……す、すみません。古株ってあんまりいい言葉じゃないで

すよね。なんか、つい……。

や、かわですか。お風呂場へられたんじゃないな? いんじゃナ
ど。

そんなことないですよ！
立つてないなんて。
ただ、長く勤めただけでなんの役にも

こや、まあ……。若こ子は色々言こまくからねえ。パソコンとかも僕らなんかよつよどちやつちやと使こになしてるんでしょう

卷之三

それでもね、長年、同じ会社で今までの移り変わりを見てい
るからこそ、できる仕事だつてあると想つんですね。

それに、毎日ひやんと来て、いつもの通り仕事して……ちょっと
したことの積み重ねかもしれないけど、それだけです、」ことです
よ。

僕ね、会社つてこんな大きい箱の中に色んな人がいて、みんながそれぞれに頑張つたり悩みを抱えたり、それを乗り越えたり……そういうの、見てるの好きなんですよ。

そりやもちろん起業したり、なんらかの才能で自分の力だけで生きてる人はかつこいいんですけどね。でも、それだけがかつこいいわけじゃないと思うんですね。

実を語つと、あなたがエレベーターに乗り込んできたときに花束持つてたのを見て、今日で退職されるんだなってわかつて、最後に少しだけお話したいと思いまして。

長く勤めただけ、なんてねつしゃこあすかゞ、その長い間の会社を支えてきたんですから。

ええ？ 神経すり減られただけ、ですか？ ははっ。そうかも
しませんねえ。

大変で、嫌なことの方が多いですもんね。

でも、いんじやないですか?

未練がましくなんてないですよ。会社を辞めるのは寂しいと思い

ますよ。愛着があるほどね。

あ！

エレベーター、動きましたよっ！

よかったですねえ。

そうだ。

言い忘れるところでした。

お仕事、長い間お疲れ様でした。

やつと、一階に到着しましたねえ。ドアも問題なく開きましたよ。

え？

ああ。僕は降りないですよ。降りれないんです。

三十年前、ここで死んでから、ずっとここが僕の居場所です。

僕はこれからもここで色々な人達を見続けたいと思います。

……いえ。それはこちらのセリフですよ。

ありがとうございました。

では、お気をつけて。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9187j/>

ちょっとしたこと

2010年10月8日15時53分発行